

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

北海道八雲町 八雲総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	16	-	ド透I未	救 臨 感へ災輸
人口(人)	建物面積(㎡)	不採算地区病院	看護配置	
17,277	23,850	非該当	7:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

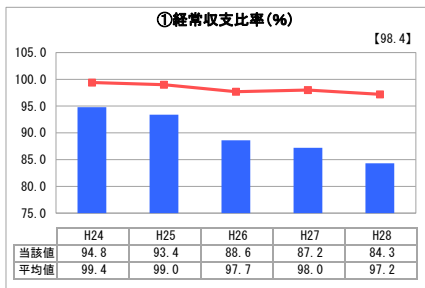
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
203	40	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
100	4	347
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
203	40	243

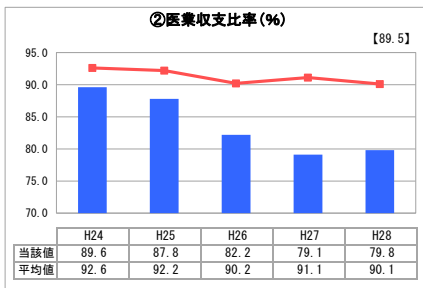
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

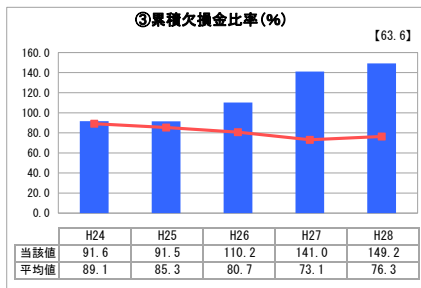
## 1. 経営の健全性・効率性



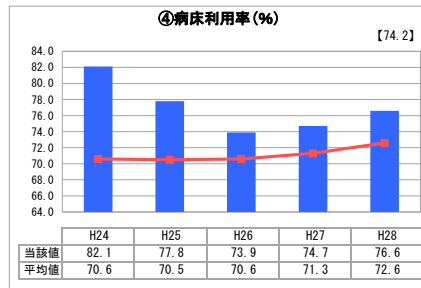
「経常損益」



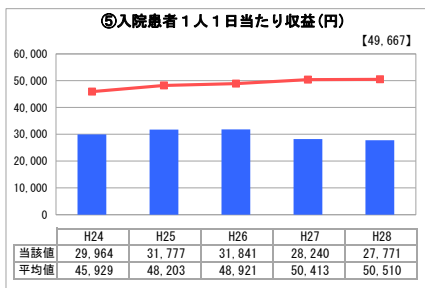
「医業損益」



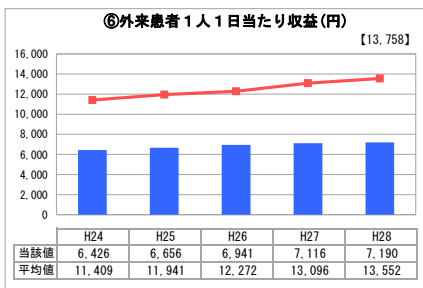
「累積欠損」



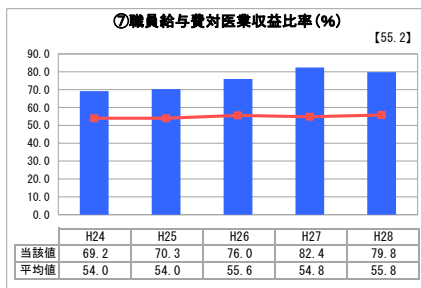
「施設の効率性」



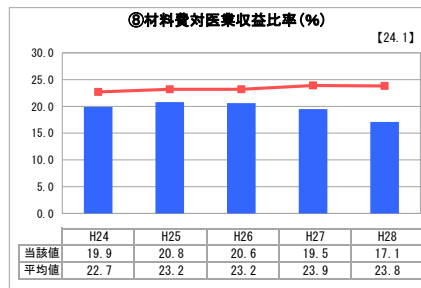
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

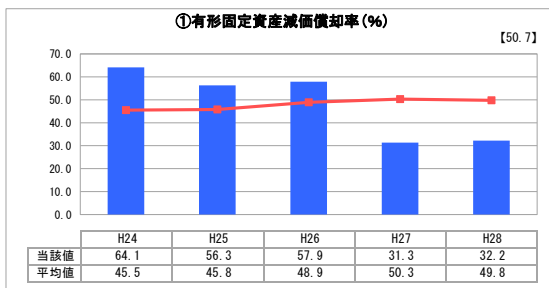


「費用の効率性①」

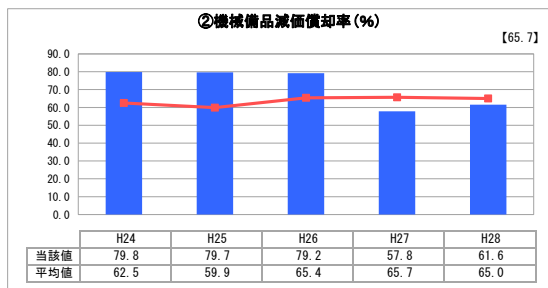


「費用の効率性②」

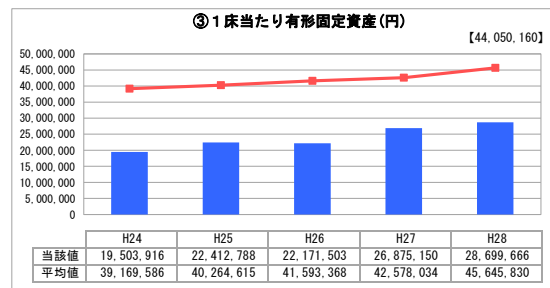
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

当院は、北部渡島檜山圏域の地域センター病院、災害拠点病院等、圏域住民が良質な医療を安定して受け続けられる公的病院である。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①100%を下回る赤字経営が続き、類似団体平均も下回っている。
- ②平成26年度から循環器内科医師等の退職により、収益を大きく減らしたが、平成28年度からは回復傾向にある。
- ③平成26年度の医師退職による減収により累積欠損金が大きく増加し、類似団体平均も大きく上回っている。
- ④療養及び精神病床の稼働率が高位で推移していることから、類似団体平均を上回っている。
- ⑤診療単価の低い療養及び精神の患者が多いことから類似団体平均を下回っている。
- ⑥慢性疾患患者が多く、検査件数が少ないことから類似団体平均を下回っている。
- ⑦常勤医師を確保できず、非常勤医師で対応することにより賃金が高額となり比率を引き上げ、類似団体平均を上回っている。
- ⑧概ね20%で推移し、類似団体平均を下回っている。

### 2. 老朽化の状況について

- ①平成27年度に本館棟の建替えが完了したことにより償却率は減少した。
- ②平成27年度の本館棟の建替えの際に機器を更新したことにより償却率は減少した。
- ③類似団体平均を下回り、適正な投資であるといえる。

### 全体総括

赤字が続く非常に厳しい経営状況であるが、類似団体平均と大きな開きがある入院及び外来患者1人1日当たり収益を平均に近づけられるよう、平成28年度に策定した「八雲総合病院新改革プラン」に基づき、健全な経営となるよう一層の努力が必要である。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。